



キャンパス・コンソーシアム函館

合同公開講座

函館学 2021

第2回講義

講義資料

函館に通う大学生の幸福度

講師：西村 淳

函館大学 准教授

日時：令和3年9月18日（土）

13：30～15：00

会場：函館大学

主催：キャンパス・コンソーシアム函館



キャンパス・コンソーシアム函館

西村 淳 (にしむらじゅん)

函館大学商学部 准教授

講師略歴

昭和33年（1958年）兵庫県神戸市生まれ

筑波大学大学院博士課程社会工学研究科中退 学術修士

1985年 日本不動産研究所・システム開発部に入所

1987年から函館大学に勤める。

ミクロ経済学、地域経済論などを担当。

函館学 2021 公開講座資料

函館に通う大学生の幸福度

函館大学准教授 西村 淳

1. はじめに

函館市は、幸福度が最下位あたりにあるという。はたしてそれが本当に正しいのであろうか。一方で、過疎地域に指定されるほど人口減少が大きいことも問題となっている。それを食い止める方法はあるのだろうか。

都市経済学において幸福度は効用として定義され、効用が低い地域から高い地域へ移住が起こると仮定される。人口の減少を重大な問題としている函館市にとって、幸福度と移住の関係を明らかにする必要がある。

本報告書は、2020年10月から11月に、函館に通う学生（函館大学、函館短期大学、大谷短期大学、北海道教育大学函館分校、ロシア極東大学）に行ったアンケート調査の概報である。なお、本文中では函館市、北斗市、七飯町を函館地域と定義して使用している。

2. 1. 幸福度の分布状況

図1は幸福度10点を最高とし、5点を普通、0点を最低として11段階で評価したときの分布グラフである。

大阪大学が全国を対象とした調査結果に似ているが、得点が高い方に偏りがある。大阪大学の調査対象が、全国の国民を偏りなく調査しているのに対して、本調査が学生を対象にしているところから差が生じているものと考えられる。

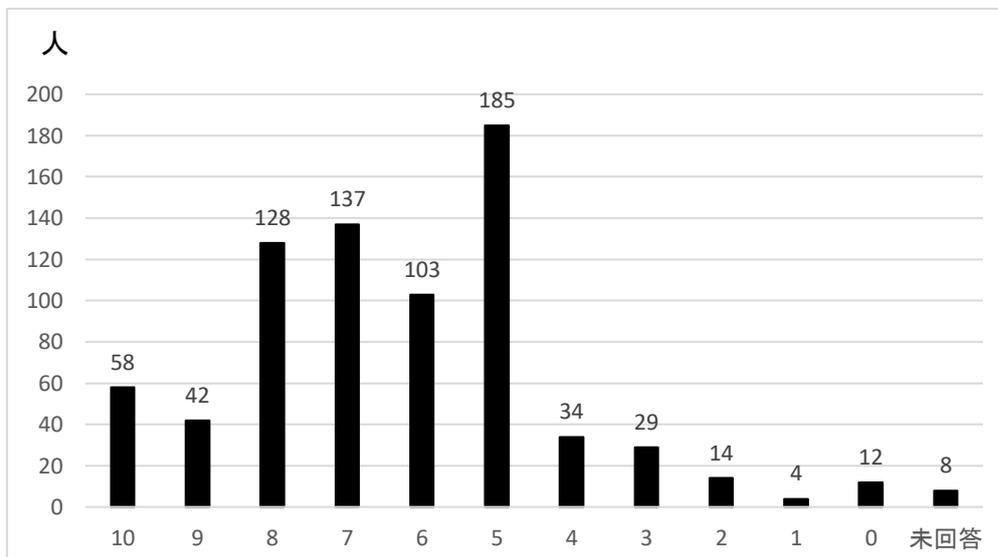


図1. 幸福度の分布状況

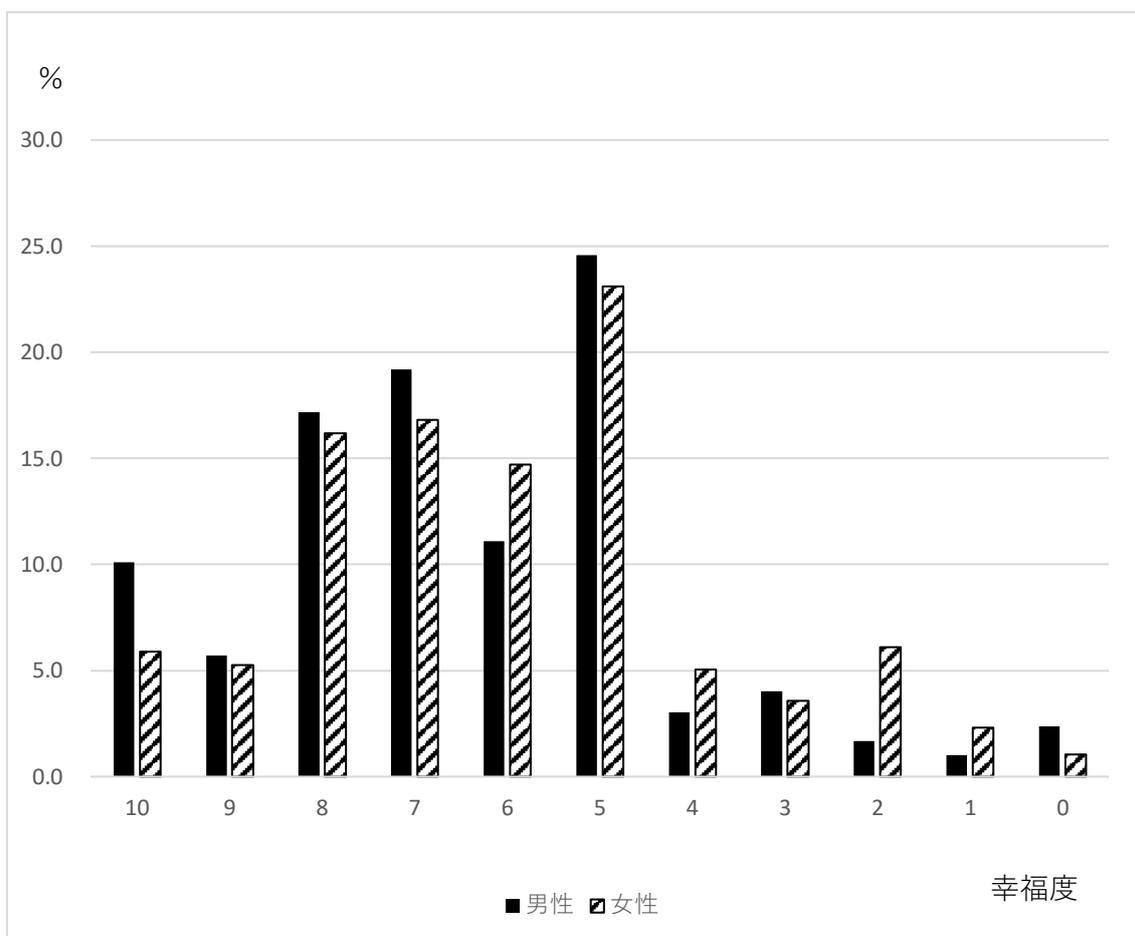


図 2. 幸福度の分布状況における男女の差

図 2 は、幸福度の分布を男女別に示した。

男性は幸福度の高い方に分布が偏る傾向が見受けられるが、平均値は男性が 6.4、女性が 6.3 で差が認められない。

2. 2. 生活にやすさと幸福度

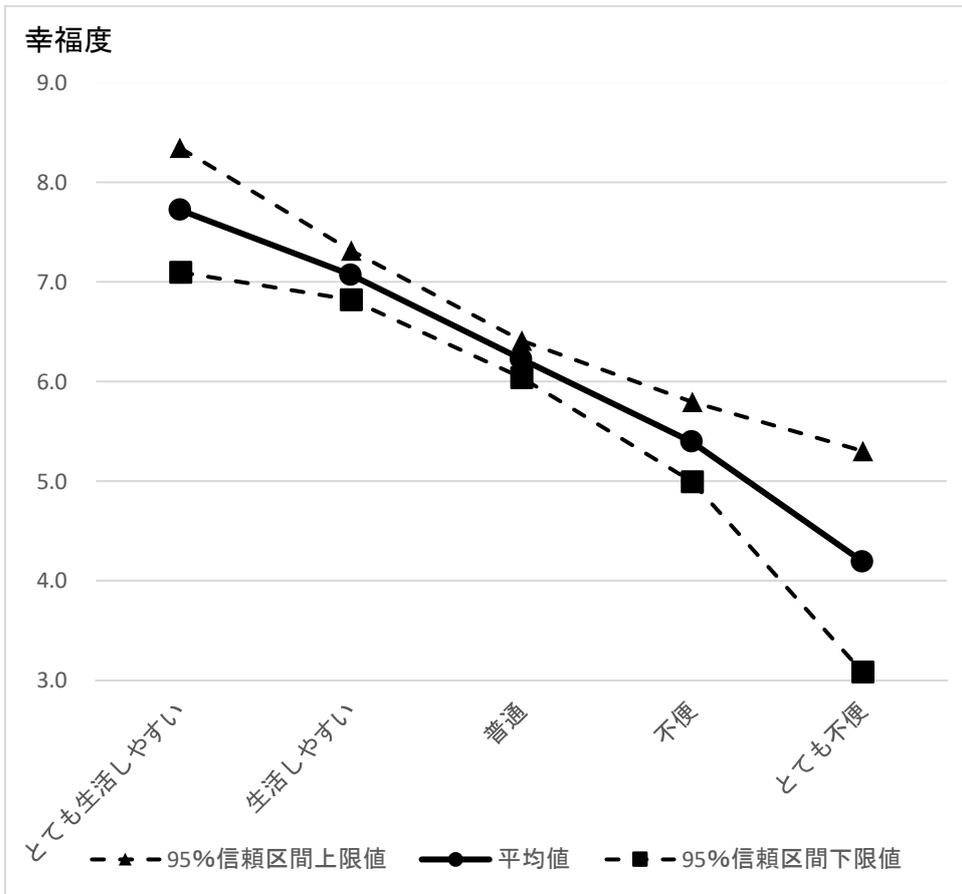


図3. 生活のしやすさと幸福度

	とても生活しやすい	生活しやすい	普通	不便	とても不便
95%信頼区間上限値	8.3	7.3	6.4	5.8	5.3
平均値	7.7	7.1	6.2	5.4	4.2
95%信頼区間下限値	7.1	6.8	6.0	5.0	3.1

表1. 生活のしやすさと幸福度（回答数 744）

図3は、生活のしやすさについて、「とても生活しやすい」、「生活しやすい」、「普通」、「不便」、「とても不便」と答えた人について、それぞれ幸福度の平均値と95%信頼区間を示したものである。

95%信頼区間とは、「母集団から標本を取ってきて、その平均から95%信頼区間を求める、という作業を100回やったときに、95回はその区間の中に母平均が含まれる」というものである。

生活のしやすさと幸福度の間には正の相関がみられる。

2. 3. 交通の便利さと幸福度

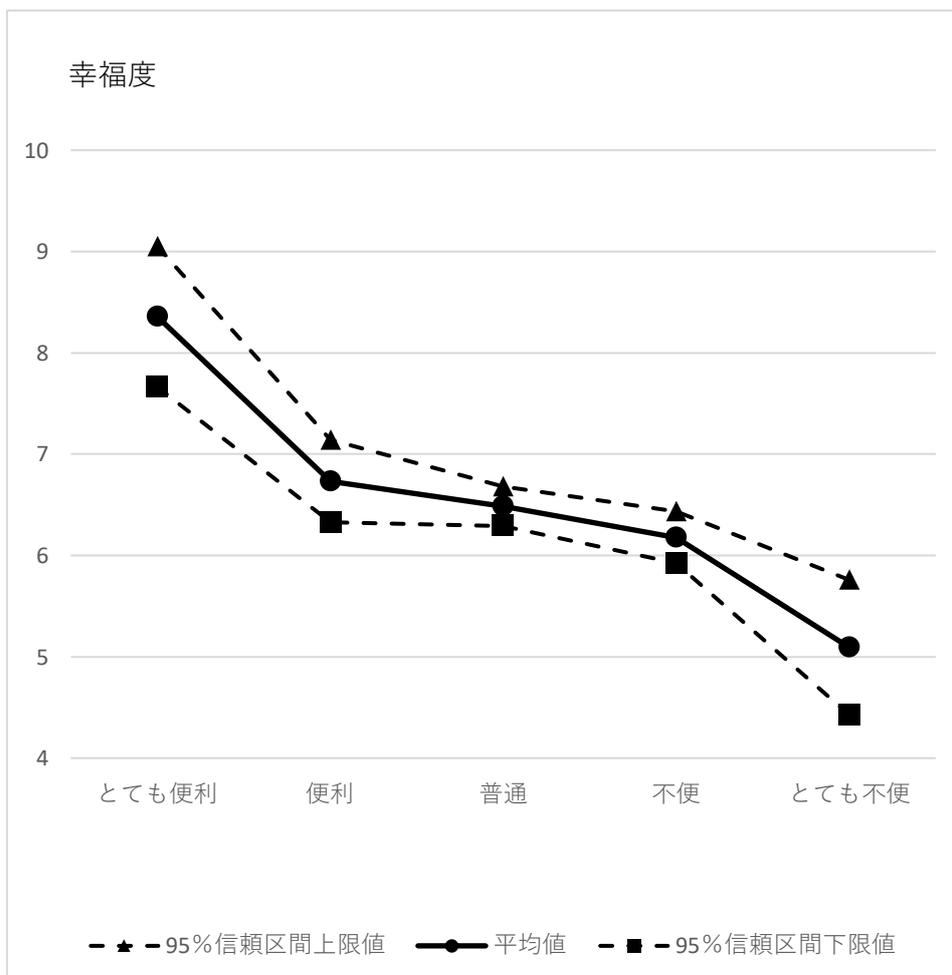


図 4. 交通の便利さと幸福度

	とても便利	便利	普通	不便	とても不便
95%信頼区間上限値	9.1	7.1	6.7	6.4	5.8
平均値	8.4	6.7	6.5	6.2	5.1
95%信頼区間下限値	7.7	6.3	6.3	5.9	4.4

表 2. 交通の便利さと幸福度 (回答数 752)

図 4 は、図 3 同様、交通の便利さについて幸福度の平均値と 95%信頼区間を求めたものである。

交通の便利さと幸福度の間には正の相関がみられる。

2. 4. 娯楽施設の充実度と幸福度

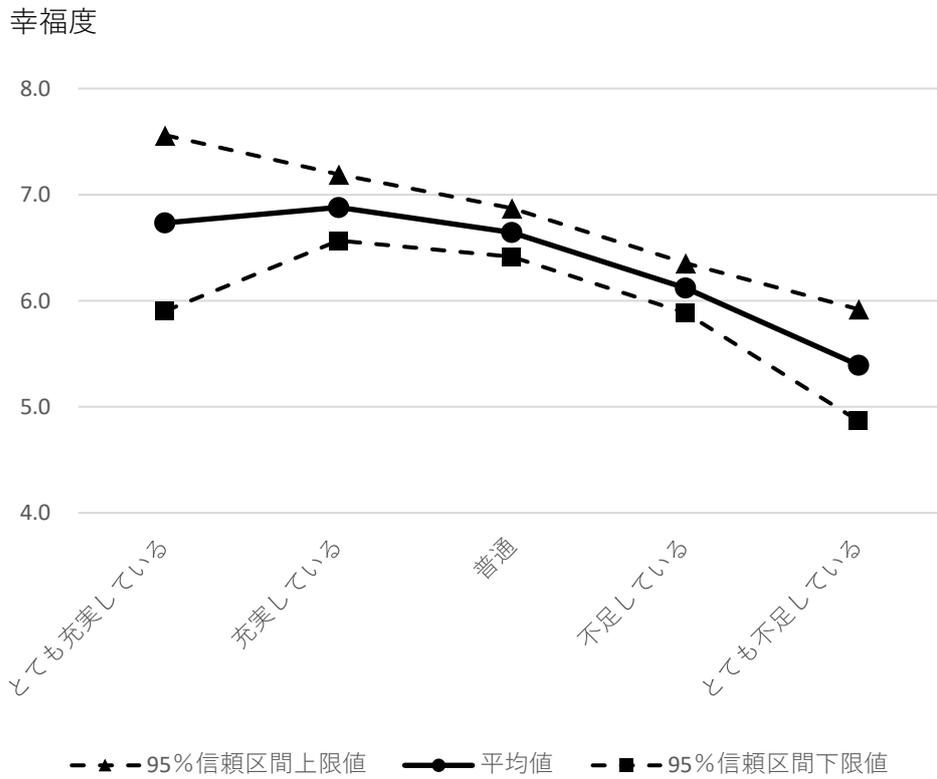


図 5. 娯楽施設の充実度と幸福度

	とても充実して いる	充実している	普通	不足している	とても不足し ている
95%信頼区間上限値	7.6	7.2	6.9	6.4	5.9
平均値	6.7	6.9	6.6	6.1	5.4
95%信頼区間下限値	5.9	6.6	6.4	5.9	4.9

表 3. 娯楽施設の充実度と幸福度回答数 (747)

図 5 は、娯楽施設の充実度について幸福度の平均値と 95%信頼区間を求めたものである。

先の生活のしやすさ、交通の便利さと比較して、勾配が緩やかになっていることがわかる。したがって、生活のしやすさ、交通の便利さほど幸福度に影響していないことがわかる。

2. 5. 買い物の便利さと幸福度

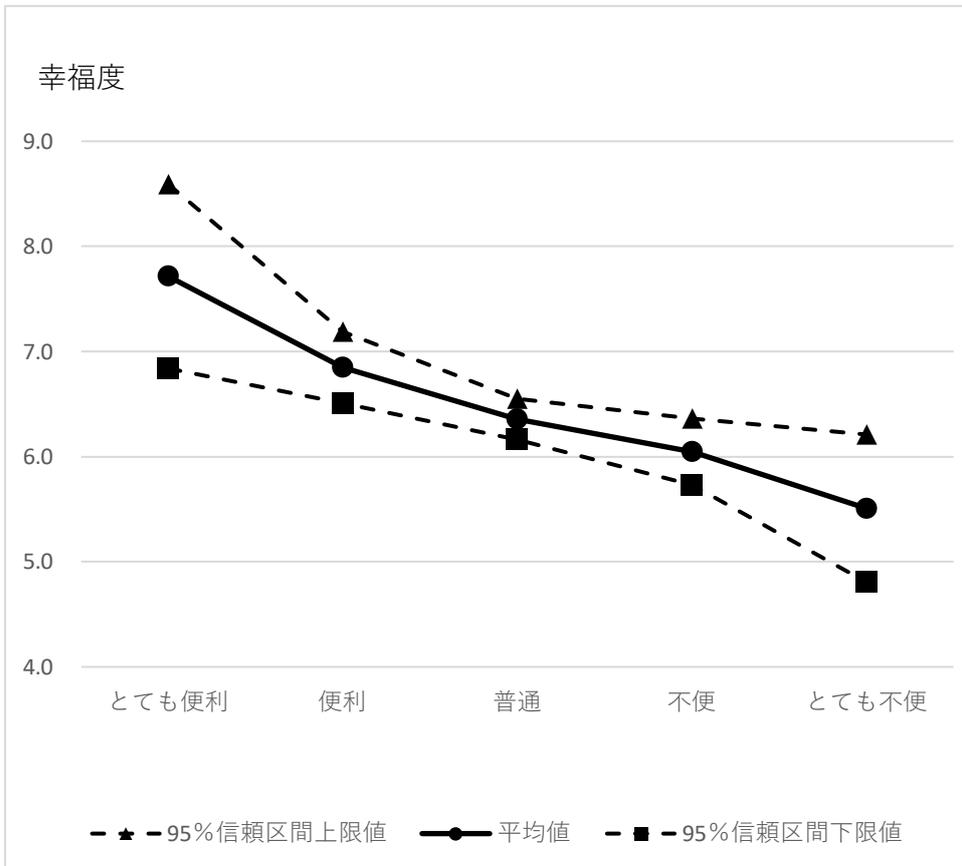


図 6. 買い物の便利さと幸福度

	とても便利	便利	普通	不便	とても不便
95%信頼区間上限値	8.6	7.2	6.6	6.4	6.2
平均値	7.7	6.8	6.4	6.0	5.5
95%信頼区間下限値	6.8	6.5	6.2	5.7	4.8

表 4. 買い物の便利さと幸福度（回答数 746）

図 6 は、買い物の便利さと幸福度の平均値と 95%信頼区間を求めたものである。

生活のしやすさ、交通の便利さほどではないが、幸福度に影響していることがわかる。

2. 6. 街の活気と幸福度

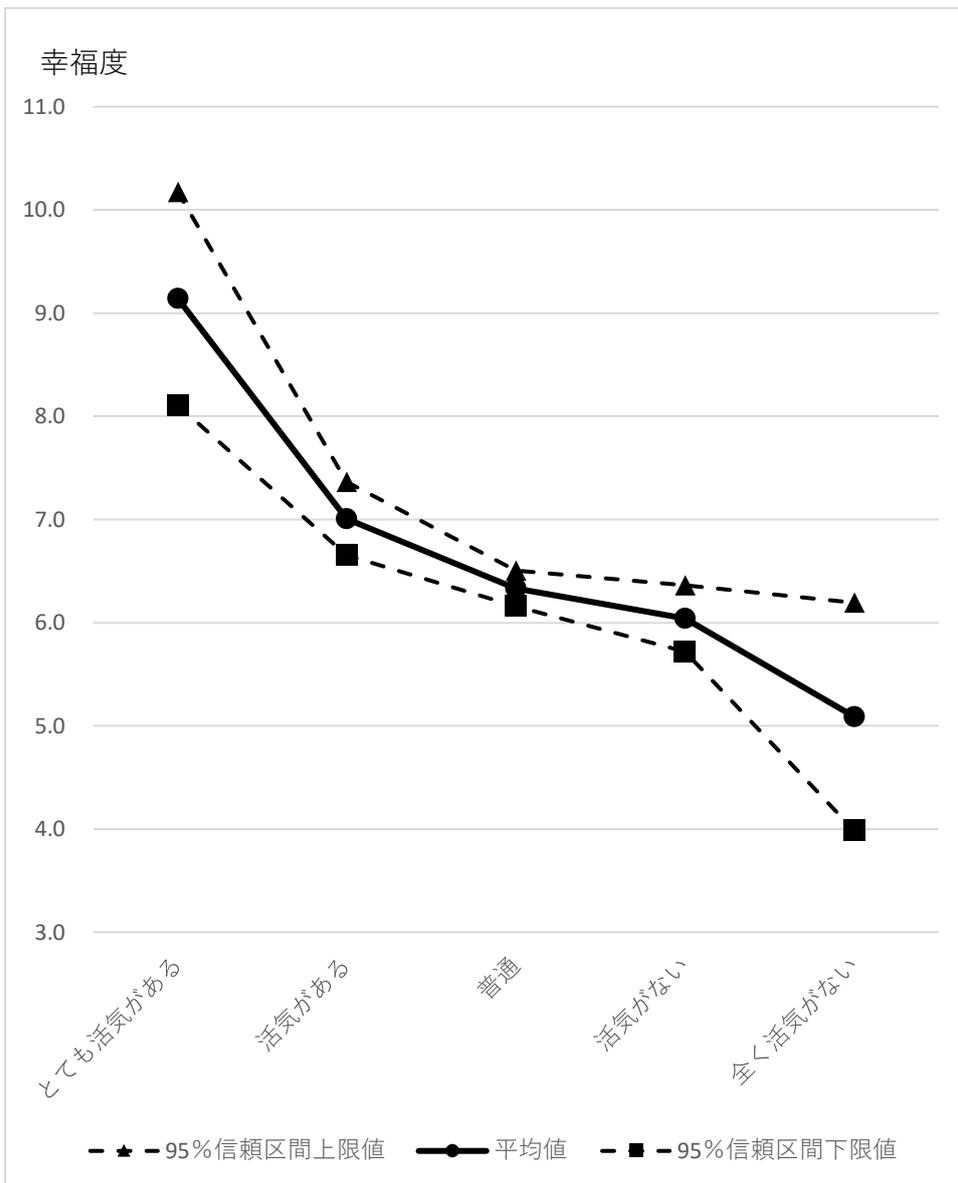


図7. 街の活気と幸福度

	とても活気が ある	活気があ る	普通	活気がない	全く活気がない
95%信頼区間上限値	10.2	7.4	6.5	6.4	6.2

平均値	9.1	7.0	6.3	6.0	5.1
95%信頼区間下限値	8.1	6.7	6.2	5.7	4.0

表 5. 街の活気と幸福度（回答数 744）

グラフ両端の 95%信頼区間が広がっているが、幸福度に相当影響していることがわかる。

2. 7. 就職したい企業の数と幸福度

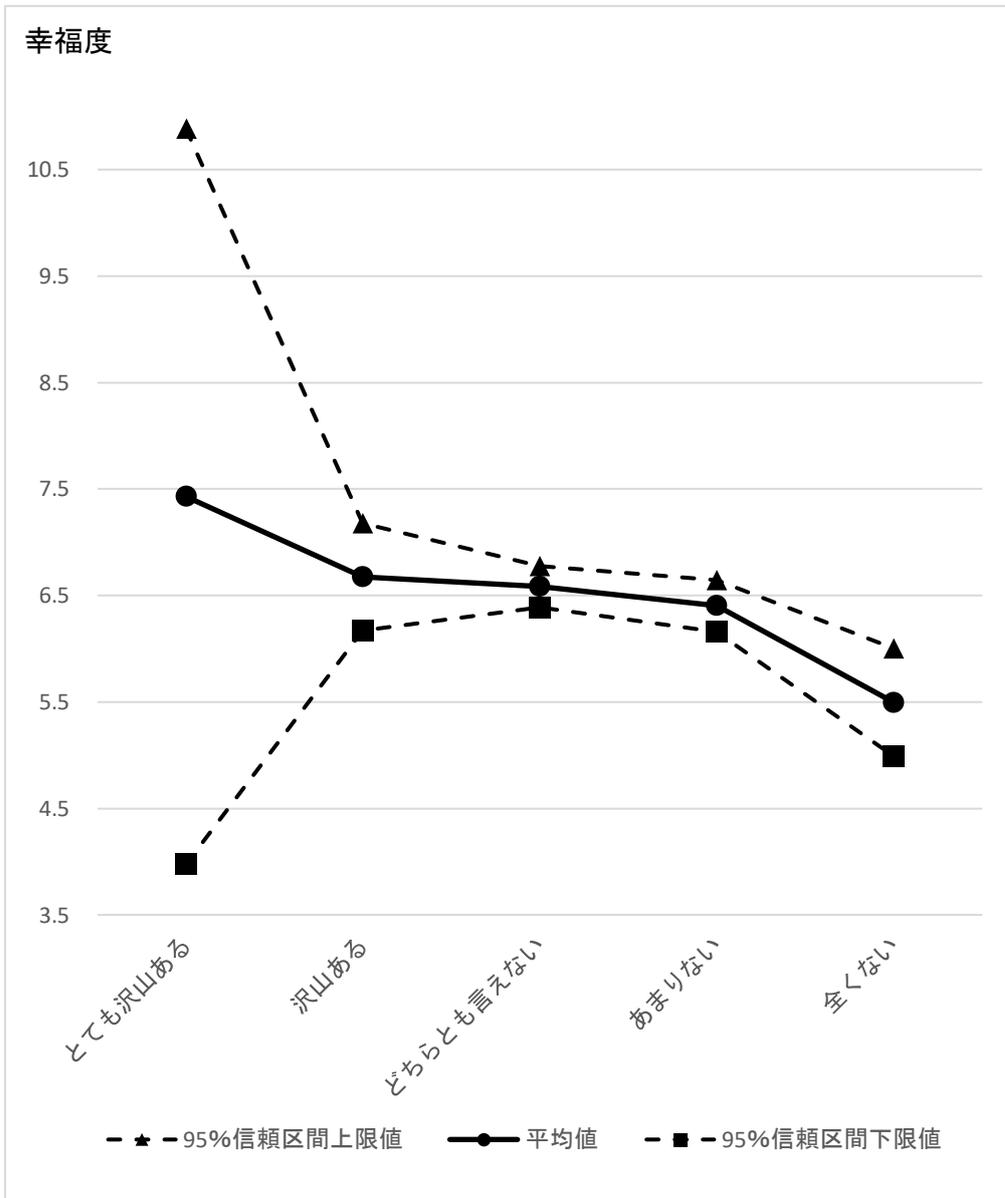


図 8. 就職したい企業の数と幸福度

	とても沢山あ る	沢山ある	どちらとも言 えない	あまりない	全くない
95%信頼区間上限値	10.9	7.2	6.8	6.6	6.0

平均値	7.4	6.7	6.6	6.4	5.5
95%信頼区間下限値	4.0	6.2	6.4	6.2	5.0

表 6. 就職したい企業の数と幸福度（回答数 740）

信頼区間幅が広い「とても沢山ある」を除いて眺めた場合、幸福度への影響は弱い。

2. 8. 函館地域に住み続けることと幸福度

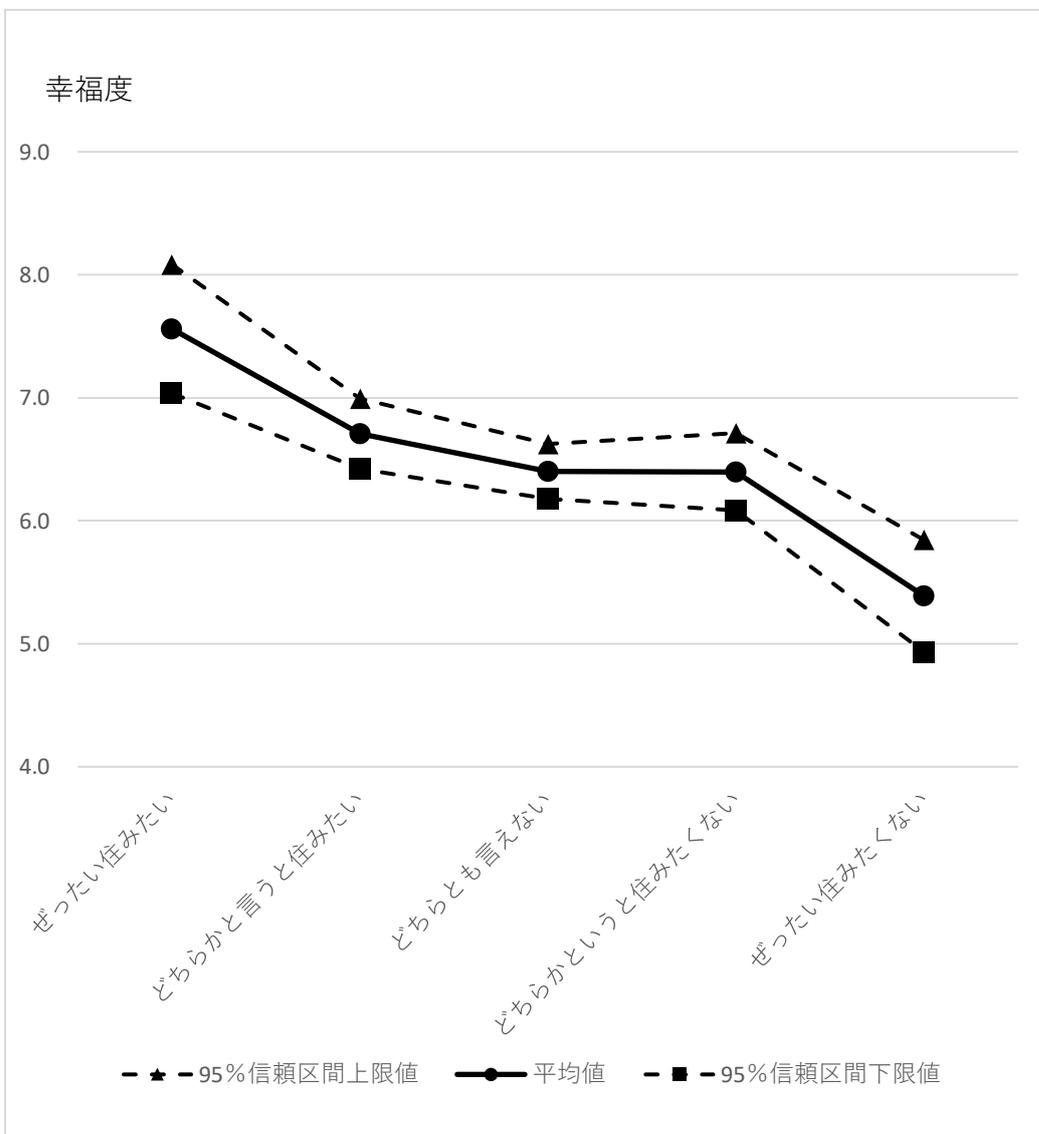


図 9. 函館地域に住み続けることと幸福度

	ぜったい住 みたい	どちらかと言 うと住みたい	どちらとも言 えない	どちらかという と住みたくない	ぜったい住み たくない
95%信頼区間上限値	8.1	7.0	6.6	6.7	5.8
平均値	7.6	6.7	6.4	6.4	5.4
95%信頼区間下限値	7.0	6.4	6.2	6.1	4.9

表 7. 函館地域に住み続けることと幸福度（回答数 744）

図 9 から、函館に住みつづけたいと考える人は幸福度が高いことがわかる。

2. 9. 故郷で就職することと幸福度

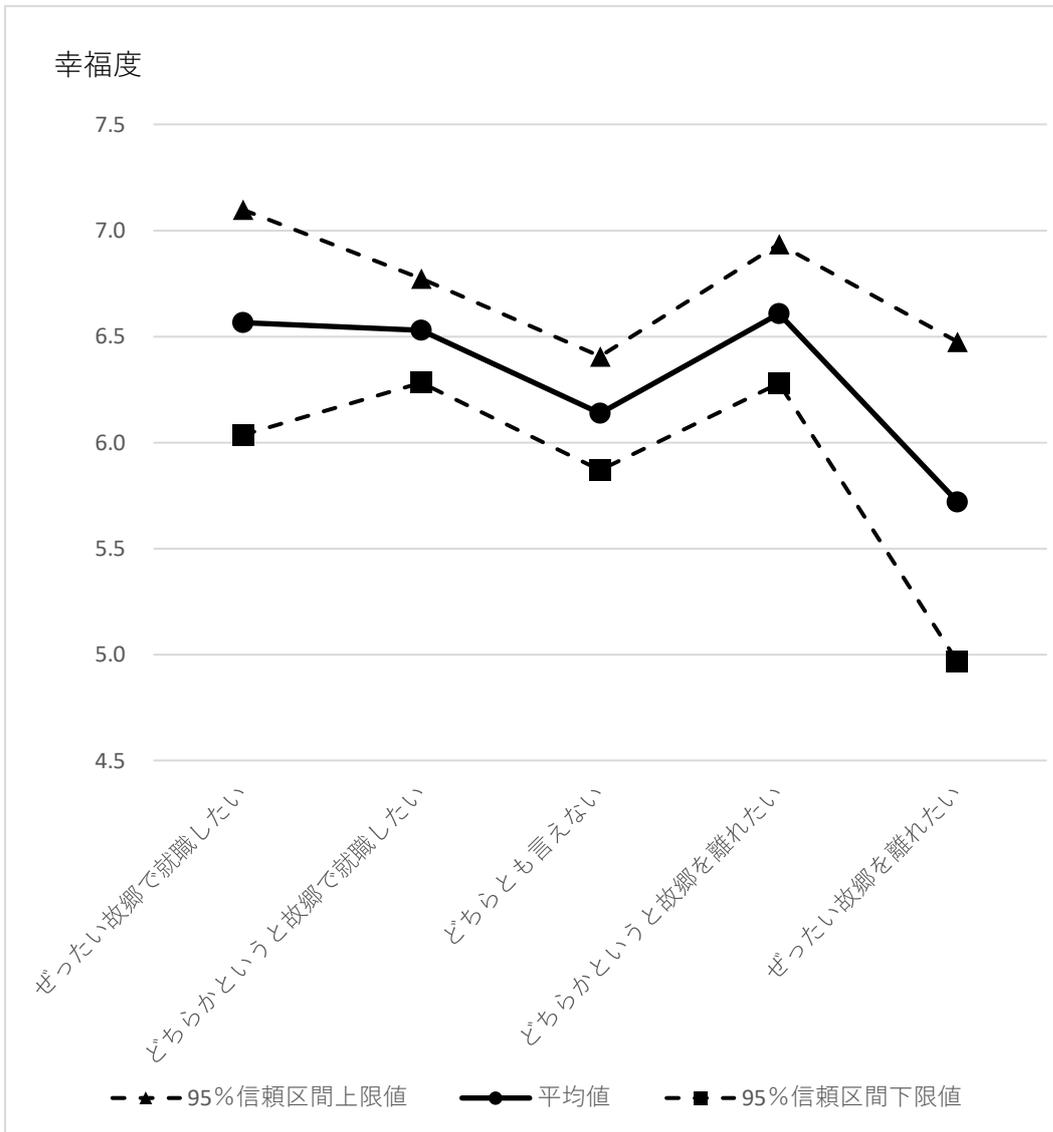


図10. 故郷で就職することと幸福度

	ぜったい故郷で就職したい	どちらかという故郷で就職したい	どちらとも言えない	どちらかという故郷を離れたい	ぜったい故郷を離れたい
--	--------------	-----------------	-----------	----------------	-------------

95%信頼区間上限値	7.1	6.8	6.4	6.9	6.5
平均値	6.6	6.5	6.1	6.6	5.7
95%信頼区間下限値	6.0	6.3	5.9	6.3	5.0

表 8. 故郷で就職することと幸福度 (回答数 727)

2. 10. 学業の満足度と幸福度

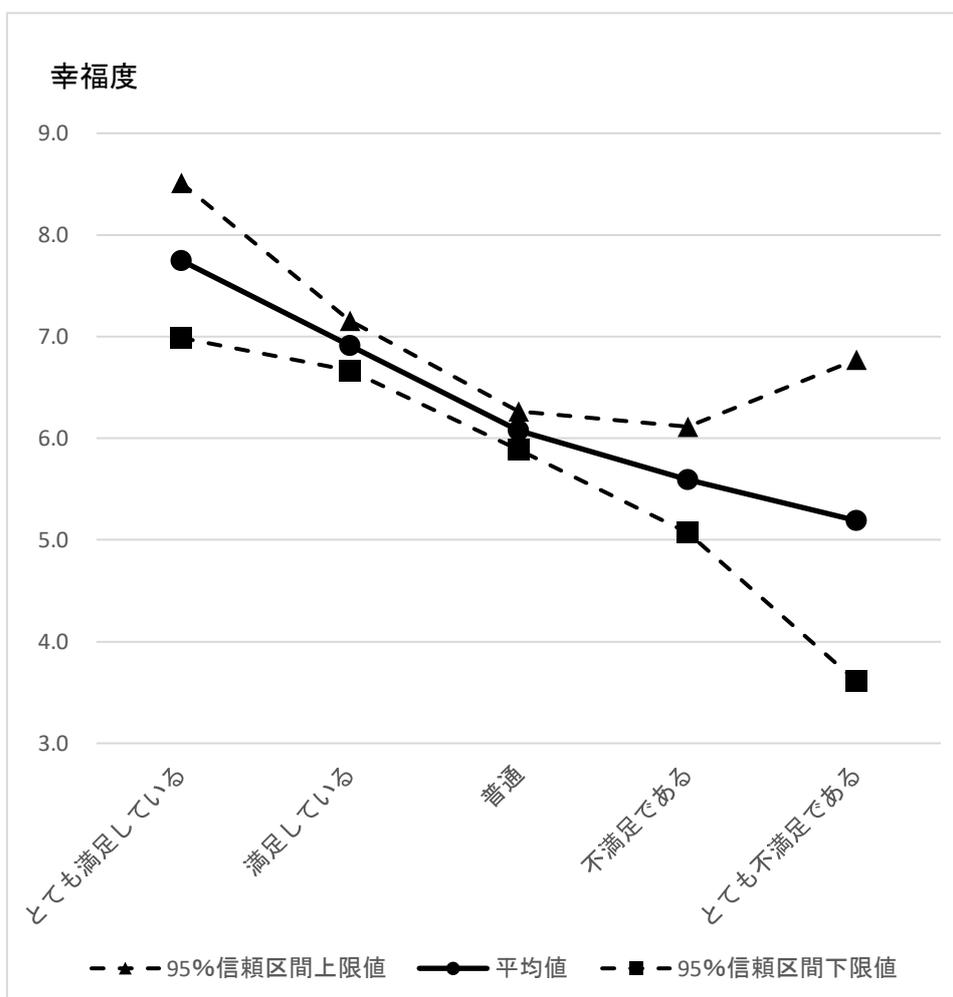


図 1 1. 学業の満足度と幸福度

	とても満足し ている	満足している	普通	不満足である	とても不満足 である
95%信頼区間上限値	8.5	7.2	6.3	6.1	6.8
平均値	7.8	6.9	6.1	5.6	5.2
95%信頼区間下限値	7.0	6.7	5.9	5.1	3.6

表 9. 学業の満足度と幸福度（回答数 730）

図 1 1 から、学業に満足しているほど幸福度が高くなることがわかる。

2. 1 1. 居住状況と幸福度

	一人暮らしである	家族（もしくは友人・その他）と同居
95%信頼区間上限値	6.6	6.6
平均値	6.3	6.4
95%信頼区間下限値	6.1	6.2

表 1 0. 居住状況と幸福度（回答数 729）

2. 1 2. 一ヶ月に自由に使うことができる金額と幸福度

	1 万円 未満	1 万円以 上 2 万円 未満	2 万円以 上 3 万円 未満	3 万円以 上 4 万円 未満	4 万円以 上 5 万円 未満	5 万円以 上
95%信頼区間上限値	6.8	6.8	6.6	6.9	7.0	6.5
平均値	6.4	6.4	6.2	6.4	6.4	6.0
95%信頼区間下限値	6.0	6.1	5.9	5.9	5.7	5.5

表 1 1. 一ヶ月に自由に使うことができる金額と幸福度（回答数 593）

2. 1 3. 1 日あたりの平均的な自由時間と幸福度

	2 時間 未満	2 時間以上 4 時間未満	4 時間以上 6 時間未満	6 時間以上 8 時間未満	8 時間 以上
95%信頼区間上限値	7.4	6.5	6.4	6.8	7.1
平均値	6.7	6.1	6.2	6.4	6.6
95%信頼区間下限値	6.0	5.8	5.9	6.0	6.0

表 1 2. 1 日あたりの平均的な自由時間と幸福度（回答数 587）

2. 1 4. LINE に登録している友人数と幸福度

	0 人 以上	50 人 以上	100 人 以上	150 人 以上	200 人 以上	250 人 以上	300 人 以上
	50 人 未満	100 人 未満	150 人 未満	200 人 未満	250 人 未満	300 人 未満	
95%信頼区間上限値	6.2	7.0	6.5	7.5	8.2	8.6	7.9
平均値	6.0	6.7	6.1	6.5	6.9	6.3	6.1
95%信頼区間下限値	5.7	6.5	5.7	5.5	5.5	3.9	4.3

表 1 3. LINE に登録している友人数と幸福度 (回答数 597)

2. 1 5. 恋人の有無と幸福度

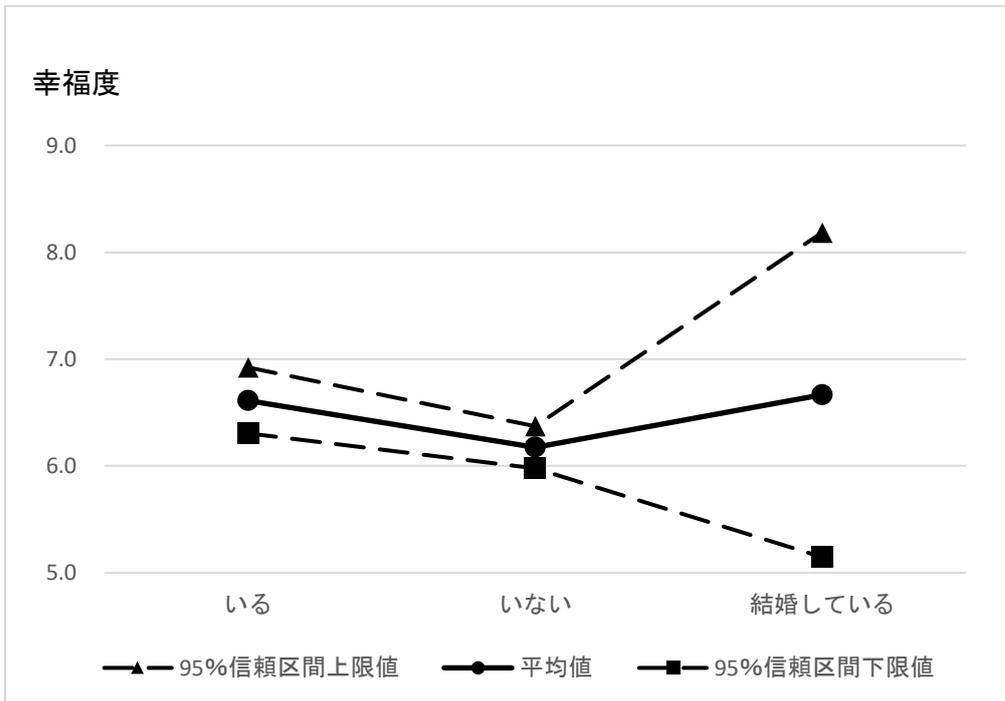


図 1 2. 恋人の有無と幸福度

	いる	いない	結婚している
95%信頼区間上限値	6.9	6.4	8.2
平均値	6.6	6.2	6.7
95%信頼区間下限値	6.3	6.0	5.1
データ数	168	401	15

表 1 4. 恋人の有無と幸福度 (回答数 585)

図 1 2 から、恋人の有無と幸福度にはほとんど差がないことがわかる。

恋人が居る人が函館地域に住み続けるかと幸福度

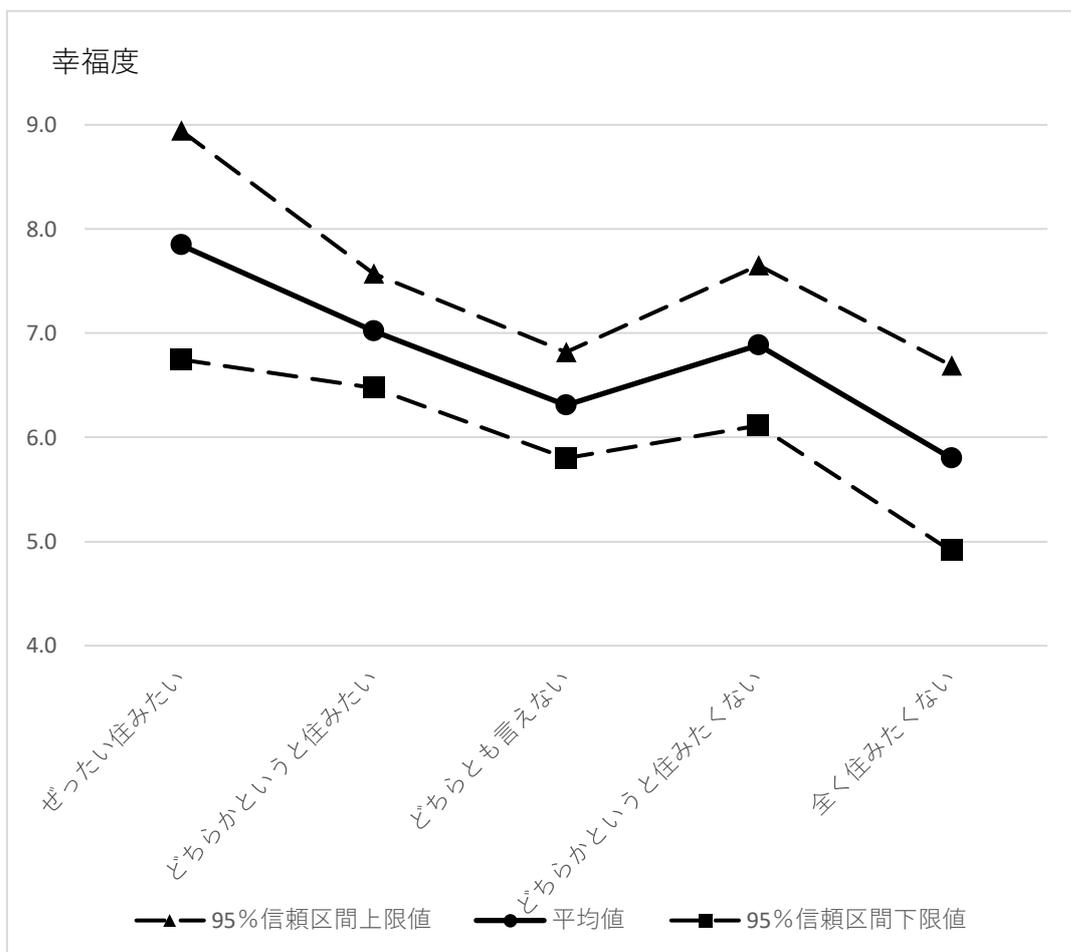


図 1 3. 恋人が居る人が函館地域に住み続けるかと幸福度

	ぜったい住 みたい	どちらかとい うと住みたい	どちらとも言 えない	どちらかという と住みたくな い	全く住みた くない
95%信頼区間上限値	8.9	7.6	6.8	7.7	6.7
平均値	7.8	7.0	6.3	6.9	5.8
95%信頼区間下限値	6.7	6.5	5.8	6.1	4.9
データ数	13	44	55	26	30

表 1 5. 恋人が居る人が函館地域に住み続けるかと幸福度（回答数 168）

図 1 3 から、恋人がいる人は、函館地域に住みたいと思う人ほど幸福度が高くなる傾向が見受けられる。

恋人が居ない人が函館地域に住み続けるかと幸福度

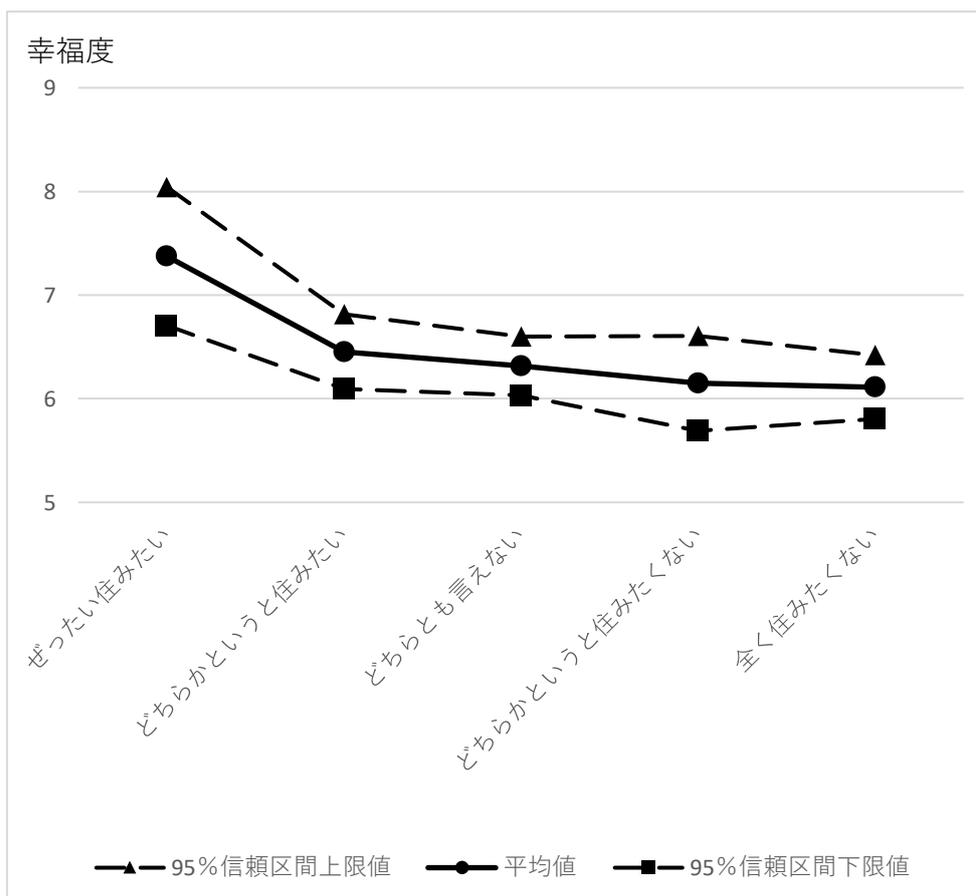


図 1 4. 恋人が居ない人が函館地域に住み続けるかと幸福度

	ぜったい住みた い	どちらかとい うと住みたい	どちらとも言 えない	どちらかとい うと住みたくな い	全く住みた くない
95%信頼区間上限値	8.0	6.8	6.6	6.6	6.4
平均値	7.4	6.5	6.3	6.1	6.1
95%信頼区間下限値	6.7	6.1	6.0	5.7	5.8
データ数	24	99	143	75	235

表 1 6. 恋人が居ない人が函館地域に住み続けるかと幸福度（回答数 576）

恋人がいる人と比べて恋人が居ない人は、函館地域に住みたいと思う人ほど幸福度が高くなる傾向は弱い。

表 1 7 は、恋人が居る人といない人で、住み続けたいか否かの割合を比較したものである。恋人が居る人は、「絶対住みたい」と「どちらかというに住みたい」の割合が居ない人よりも多く、「全く住みたくない」は恋人が居ない人の方が多い。恋人が居ることが、他地域への流出を食い止めるアンカー効果となっている。

	ぜったい住みた	どちらかという	どちらとも言	どちらかとい	全く住みた

	い	と住みたい	えない	うと住みたく ない	ない
恋人が居る人の幸福度の 平均値	7.8	7.0	6.3	6.9	5.8
恋人が居ない人の幸福度の 平均値	7.4	6.5	6.3	6.1	6.1
恋人が居る人の占める割合 (%)	7.7	26.2	32.7	15.5	17.9
恋人が居ない人の占める割合 (%)	4.2	17.2	24.8	13.0	4.0.8

表 1 7. 恋人の有無と函館地域での居住継続性

2. 1 6. 1 日あたりの平均的なスマホの利用時間と幸福度

	1 時間未満	1 時間以上	2 時間以上	3 時間以上	4 時間以

		2 時間未満	3 時間未満	4 時間未満	上
95%信頼区間上限値	8.0	7.0	6.9	6.6	6.3
平均値	6.6	6.4	6.6	6.2	6.1
95%信頼区間下限値	5.3	5.9	6.3	5.8	5.8

表 1 8. 1 日あたりの平均的なスマホの利用時間と幸福度（回答数 594）

2. 1 7. 部・サークルへの所属と幸福度

	所属している	所属していない
95%信頼区間上限値	6.512675	6.552579
平均値	6.266892	6.328859
95%信頼区間下限値	6.021109	6.105139

表 1 9. 部・サークルへの所属と幸福度（回答数 594）

2. 1 8. 人間関係と幸福度

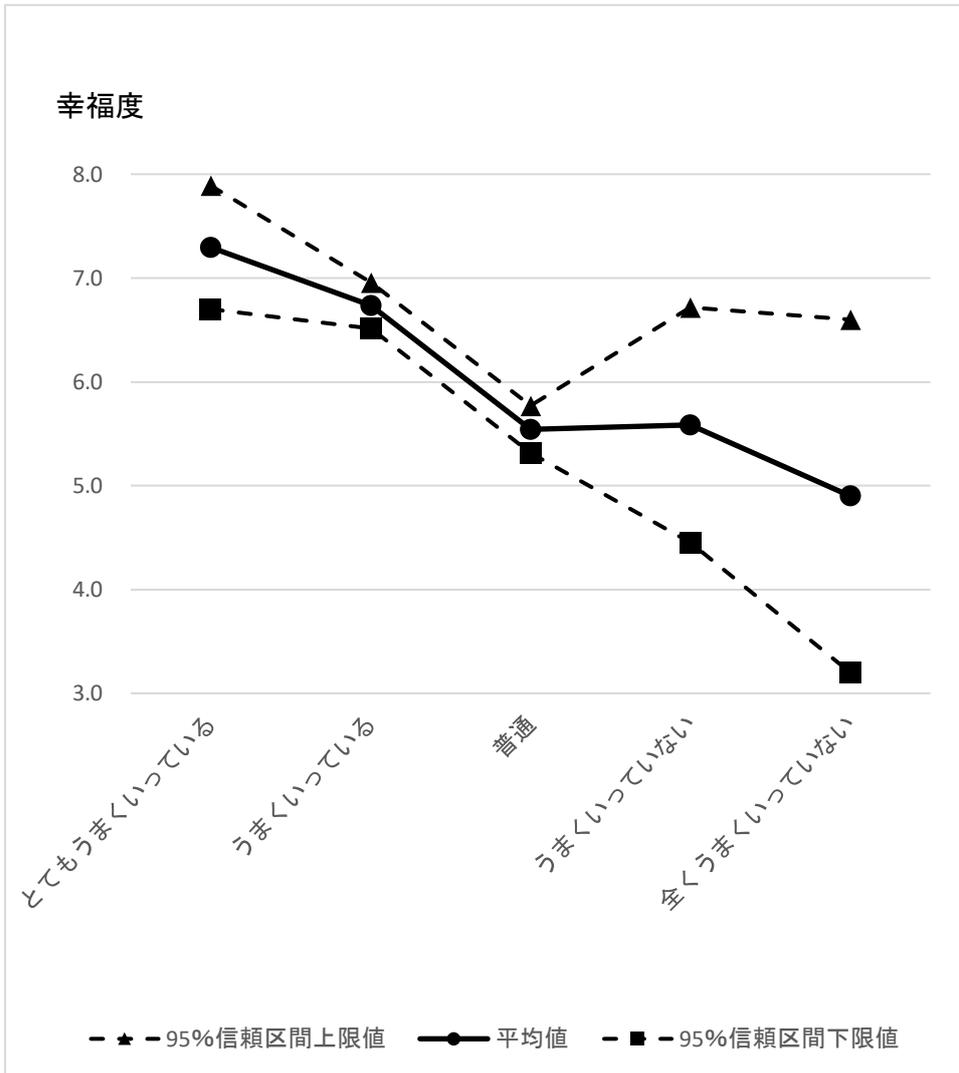


図 1 5. 人間関係と幸福度

	とてもうまくい ている	うまくいって いる	普通	うまくいって ない	全くうまくい ていない
95%信頼区間上限値	7.9	7.0	5.8	6.7	6.6
平均値	7.3	6.7	5.5	5.6	4.9

95%信頼区間下限値	6.7	6.5	5.3	4.5	3.2
------------	-----	-----	-----	-----	-----

表 2 0. 人間関係と幸福度 (回答数 597)

図 1 5 から、「とてもうまくいっている」から「普通」にかけて正の相関が見受けられ、人間関係がうまくいっている人ほど幸福度が高い傾向がある。

2. 1 9. 達成したい目標の有無と幸福度

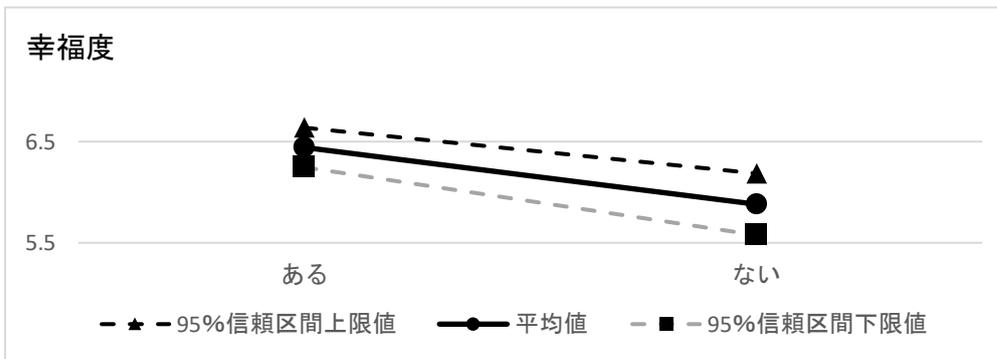


図 1 6. 達成したい目標の有無と幸福度

	ある	ない
95%信頼区間上限値	6.6	6.2
平均値	6.4	5.9
95%信頼区間下限値	6.2	5.6

表 2 1. 達成したい目標の有無と幸福度 (回答数 598)

図 1 6 から、達成したい目標がある人は、幸福度が高いことがわかる。特に、目標のない人の 95% 信頼区間上限値である 6.2 が、目標のある人の 95% 信頼区間下限値に等しいことから、目標の有無の差が明確に幸福度の差となっていることが想像される。

2. 2 0. 趣味の有無と幸福度

	ある	ない
95%信頼区間上限値	6.0	6.6
平均値	5.7	6.1
95%信頼区間下限値	5.3	5.6

表 2 2. 趣味の有無と幸福度 (回答数 598)

2. 2 1. アルバイトと幸福度

	している	していない
95%信頼区間上限値	6.6	6.4
平均値	6.4	6.2
95%信頼区間下限値	6.4	5.9

表 2 3. アルバイトと幸福度 (回答数 596)

2. 2 2. 経済的な暮らし向きと幸福度

	とても余裕がある	余裕がある	普通	あまりない	全くない
95%信頼区間上限値	8.6	6.9	6.5	6.3	6.4
平均値	7.4	6.6	6.3	5.9	5.2
95%信頼区間下限値	6.3	6.2	6.1	5.5	4.0

表 2 4. 経済的な暮らし向きと幸福度 (回答数 597)

2. 2 3. 将来への不安と幸福度

	とても不安で ある	不安であ る	どちらとも言え ない	安心して いる	とても安心し ている
95%信頼区間上限値	6.4	6.6	6.6	8.3	8.0
平均値	6.0	6.3	6.3	7.4	6.1
95%信頼区間下限値	6.4	6.1	6.1	6.5	4.2

表 2 5. 将来への不安と幸福度 (回答数 597)

2. 2 4. 普段の健康状態と幸福度

	よい	まあよい	普通	あまり良くない	良くない

95%信頼区間上限値	7.4	6.7	6.1	6.6	5.2
平均値	7.1	6.4	5.8	5.7	3.8
95%信頼区間下限値	6.8	6.2	5.6	4.8	2.3

表 2 6. 将来への不安と幸福度 (回答数 597)

2. 2 5. 新型コロナウイルスと幸福度

	とても不安 である	不安であ る	どちらでもな い	気にしていな い	全然気にし ていない
95%信頼区間上限値	7.3	6.6	6.3	6.7	6.3
平均値	6.8	6.4	5.9	6.2	5.5
95%信頼区間下限値	6.4	6.2	5.9	5.7	4.7

表 2 7. 新型コロナウイルスと幸福度 (回答数 597)

2. 2 6. 宗教と幸福度

	熱心に信仰 している	信仰している	普通	あまりして いない	全くしてい ない
95%信頼区間上限値	9.2	6.8	6.7	6.8	6.5
平均値	6.9	5.8	6.4	6.5	6.3
95%信頼区間下限値	4.6	4.8	6.1	6.1	6.0

表 2 8. 宗教と幸福度 (回答数 597)

2. 2 7. 「愛とお金」と幸福度

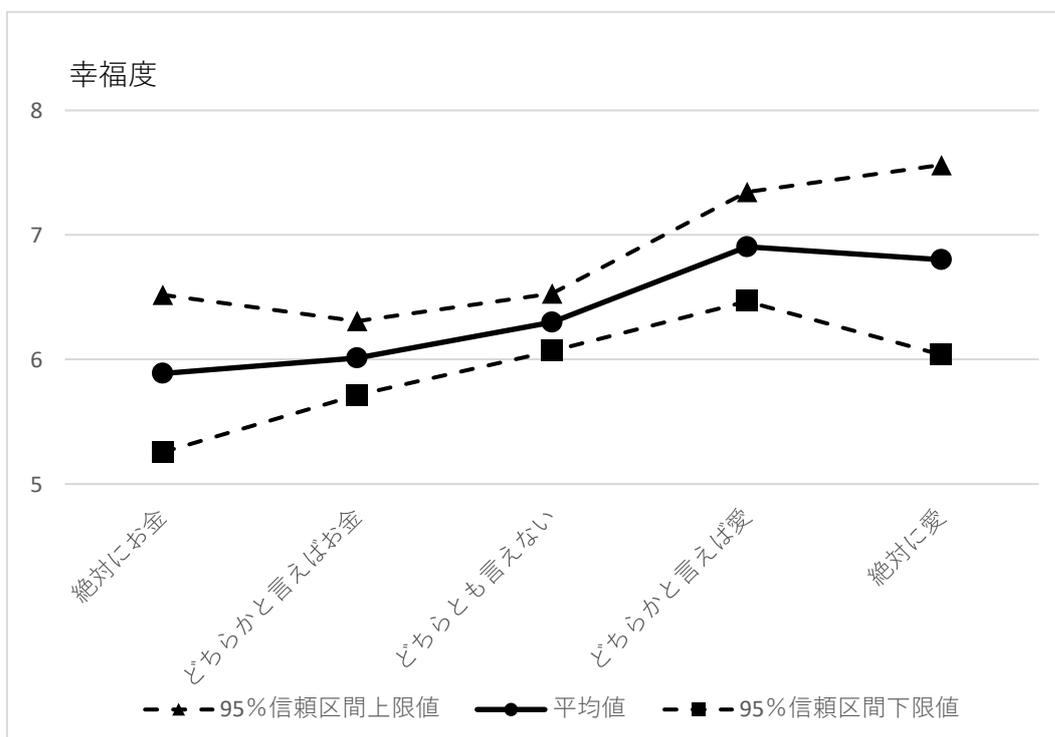


図 1 7. 「愛とお金」と幸福度

	絶対にお金	どちらかと言えばお金	どちらとも言えない	どちらかと言えば愛	絶対に愛
95%信頼区間上限値	6.5	6.3	6.5	7.3	7.6
平均値	5.9	6.0	6.3	6.9	6.8
95%信頼区間下限値	5.3	5.7	6.1	6.5	6.0

表 2 9. 「愛とお金」と幸福度（回答数 594）

図 1 7 から、お金よりも愛を選ぶ人は、幸福度が高いことがわかる。

3. まとめ

- ・「生活のしやすさ」、「交通の便利さ」、「買い物の便利さ」、「街の活気」は幸福度に大きく影響している。
- ついで「娯楽施設の充実度」も影響している。
- ・意外に就職したい企業数が幸福度に影響していない。
- ・函館地域に就職したいと考える人は、幸福度が高い傾向が有る。
- ・学業に満足している人ほど幸福度が高くなる傾向がみられる。
- ・恋人の有無によって幸福度の差がみられない。
- ・恋人が居る人は函館地域に住み続けたい志向が強いほど幸福度が高い傾向がみられる。
- ・恋人が居る人は、「絶対住みたい」と「どちらかというに住みたい」の割合が居ない人よりも多く、「全く住みたくない」は恋人が居ない人の方が多い。恋人が居ることが、他地域への流出を食い止めている。

- ・人間関係がうまくいっている人ほど、幸福度が高い傾向がある。
- ・達成したい目標がある人の方がいない人よりも、明確に幸福度が高い。
- ・お金よりも愛を選ぶ人は、幸福度が高いことがわかる。

函館は残念ながら、札幌や仙台、横浜や神戸、福岡などの政令指定都市と比較して、「生活のしやすさ」、「交通の便利さ」、「買い物の便利さ」、「街の活気」、「娯楽施設の充実度」は見劣りがする。また、それら左右するような社会資本ストックを充実させるための財政力がない。できるだけお金を使わないで、人口流出を食い止める方法をとることが次善の策として望ましい。

そのような意味で、恋人の有無は地域外への流出を食い止める効果があり、幸福度も高い傾向があることに注目すべきであろう。

4. 参考文献

筒井義郎,大竹文雄,池田新介(2009)「なぜあなたは不幸なのか」,『大阪大学経済学』58巻,4号, pp.20-57.

大竹文雄,白石小百合,筒井義郎(2010).『日本の幸福度』,日本評論社,284.

Bruno S .Frey Happiness A Revolution in Economics(2008)